

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 30 日

Table with columns for business name, policy level, financial classification, and budget items. Includes details like 'O102 健康づくりの推進' and '01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり'.

(1) 事務事業の概要
①事務事業の概要(事務事業の全体像)
②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
Includes a description of mental health promotion activities and a list of tasks such as training and counseling.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移
Table with columns for activity/objective, units, and performance data for 30th, 01st, 02nd, 03rd, and 04th years.

(3) 投入量(事業費)の推移
Table showing input quantities (staff numbers) and financial costs (budget) for 30th, 01st, and 02nd years.

01年度事業費実績(千円) vs 02年度事業費予算(千円)
Table comparing actual expenses for 2019 with budgeted expenses for 2020, categorized by item like '01 報酬' and '09 旅費'.

事務事業名	精神保健事業	事務事業No.	10201000320	所属課	健康推進課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 平成18年の自立支援法（H25障害者総合支援法に改正）により障害者の地域生活支援事業等が利用できるようになった。近年は健康増進法に基づくこのころの健康づくりが基本方針として挙げられ、うつ病の予防及びメンタルヘルスが着目されている。また、平成18年に自殺対策基本法が成立、平成28年3月法改正において「いのちを支える自殺対策行動計画」の策定が義務づけられる。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 精神障害者家族会より負担金をあげて支援して欲しいとの要望あり。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 「健康づくりの推進」に合致する。市健康増進計画「きらり健康プラン」に基づく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である このころの健康を保持と、医療機関受診前の相談機関であることと、うつ病等疾病予防や早期発見早期治療への支援は医療費や精神障害者対策費の抑制に有効である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 障害者総合支援法に基づく事業移行が必要である。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 法改正がない限り、廃止・休止はできない。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 精神保健部門は健康増進計画の事業である。障害者及び家族の支援は障害者対策で対応可能。また、支援内容によっては地域支援事業所への委託が可能である。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 相談事業や研修会開催等は業務委託は可能である。自殺企図や症状悪化時など突発的な対応を要する為、長期的な関わり見回りが必要とする。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 精神障害者及び家族を含む、全市民を対象としている為に公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	市民への啓発事業は重要であり、また精神障害者に対する理解を促す必要がある。平成28年3月、自殺対策基本法一部改正により「いのちを支える自殺対策行動計画」の策定が義務付けられており、令和元年度（R2.3月）第2次きらり健康プランに内包した自殺予防推進計画を策定した。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 精神保健について、こころの健康の維持増進に加え、うつ病の予防や早期発見等の精神疾患等への個別対応と市民への理解促進が必要である。自殺予防対策として、全庁的な連携による事業理解と人材研修の実施と事務事業の棚卸し等が必要である。さらに生活困窮者対策について関係課との更なる連携及び体制の構築が必要である。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上					維持		○			低下				
成果		コスト																								
		削減	維持	増加																						
向上																										
維持		○																								
低下																										
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>